

総合的な学習の時間 学習指導案

単元名「自信と笑顔であふれる未来の自分 ～職場体験や学校生活を生かして～」

〔探究課題：未来の自分と学校生活との関わり〕

令和〇年〇〇月〇〇日(〇) 第〇校時 〇〇〇〇〇教室

〇〇立〇〇中学校 〇年〇組 〇名 指導者 〇〇 〇〇

I 単元の構想

1 単元の目標及び生徒の実態

単元の目標	職業に関わる講演会や職場体験を基に、自分が理想とする生き方に関する探究的な学習を通して、学校生活が、自分が理想とする生き方に深く関わっていることを理解し、「社会人に求められる力」や、その力を身に付けるために学校生活の中で行うべき活動を考えるとともに、自分が理想とする生き方の実現に向けて行動できるようにする。		
生徒の実態	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
	他者との協働やコミュニケーションの必要性に気付いており、社会と結び付けながら実感を伴って理解できている生徒もいる。	学校生活の中にある自分たちの問題を見いだすことができる生徒が多く、具体的な解決方法を考えられる生徒もいる。	個人内での課題解決を行おうとする生徒はいるが、学級や学年の仲間に声をかけながら集団としての課題解決を行おうとする生徒は少ない。

2 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①講演会や職場体験で関わった人の思いや願いから働くことの意味や価値、「社会人に求められる力」に気付くとともに、学校生活が、自分が理想とする生き方に深く関わっていることを理解している。 ②立場や状況に応じ、適切な言葉を使いながら他者に自分の考えや情報を伝えたり、他者の思いや願いを正しく受け取ったりしている。 ③自分が理想とする生き方と「社会人に求められる力」との関わりについての理解は、探究的に学習したことの結果であることに気付いている。	①講演会や職場体験を通して、自分が理想とする生き方の実現のために、学校生活の中で解決すべき問題を見だし、解決の見通しをもっている。 ②自分が理想とする生き方を考えるために必要なことを、多様な方法で収集している。 ③課題解決に必要な情報を整理し、「社会人に求められる力」を身に付ける方法を考えている。 ④講演会や職場体験を通して学んだことや考えたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。	①講演会や職場体験を通して、自分にとってのやりがいや自分の新たな一面等、自分が理想とする生き方の実現に必要なことに気付こうとしている。 ②他者の考え方や、思いや願いを尊重し、自他のよさを生かしながら協働して「社会人に求められる力」を身に付ける方法を考えようとしている。 ③自分が理想とする生き方の実現のために、「社会人に求められる力」を身に付ける方法の中から自分にとって必要な方法を実践しようとしている。

3 指導及び評価の計画 ※別紙参照

4 探究課題の価値

未来の自分と学校生活との関わりを探究することを通して、「社会人に求められる力」について考えることは、「自分が理想とする生き方と『社会人に求められる力』が深く関わっていること（関係性）」、「社会を形成するために多様な考えを共有しながら協力し合っていること（協働性）」についての概念的な知識の獲得につながる。さらに、自分が理想とする生き方のイメージや、そこに至るまでの見通しの具体化により、探究的な学習のよさを、実感を伴って理解することができる。職業に関わる講演会や職場体験は、将来必ず訪れる社会生活について、生徒がこれまで知らなかった事実や、理想と現実との隔たりに気付く機会である。そのため、本探究課題の設定は、未来の自分と学校生活との関わりを再認識した上で、自分にとって意味や価値のある問題を見だし、解決方法を考えることや、自分が理想とする生き方に近付こうとする態度を育むことができる。また、本探究課題は、横断的・総合的な側面から学級活動と関連付け、学校生活における課題に対して、「社会人に求められる力」を意識した解決方法を繰り返し考え、実践することができる。その中で他者との対話や交流を繰り返すことで、自分や友達のよさを実感することができる。

II 本時の学習 (27/32)

1 ねらい 職場体験において感じた「社会人に求められる力」を、他の事業所で体験した生徒の発表と関連付けて話し合う活動を通して、自分に必要な「社会人に求められる力」を明確にできる。

2 展開

<p>主な学習活動 予想される生徒の意識 [S]</p>	<p>○指導上の留意点 ◆評価項目 (観点)</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、めあてをつかむ。(5分)</p> <p>S : 職場体験をして、コミュニケーション能力が必要だと考えたけれど、他にも必要な力があるかもしれないな。</p> <p>S : 他の事業所で職場体験をした友達は、どんな力が必要と考えたか聞いてみたいな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><めあて> 他の事業所で職場体験をした友達の考えを聞いて、自分に必要な「社会人に求められる力」を確かにしよう。</p> </div>	<p>○自分に必要な「社会人に求められる力」を明確にするという目的意識を高められるように、職場体験において感じた「社会人に求められる力」と理想とする生き方を問いかける。</p> <p>○多様な「社会人に求められる力」に気付けるように、異なる職種で職場体験をした生徒で3~5人の発表班を構成する。</p> <p>○自分に必要な「社会人に求められる力」を吟味できるように、それぞれが必要と感じた「社会人に求められる力」とその理由を照らし合わせながら発表を聞くよう促す。</p>
<p>2 事業所ごとのまとめを発表班で伝え合う。(20分)</p> <p>S : 自分たちの事業所とは違う職種だけれど、コミュニケーション能力が必要だという部分は共通したものもあるのだな。</p> <p>S : 自分になりたい姿に結び付く考え方もあったから、行動だけでなく、考え方も大切にしていかなないといけないと感じたよ。</p>	<p>○聞き手の生徒が発表内容を理解できるように、発表中のスライドを提示するモニターを発表班に1台ずつ用意しておく。</p> <p>○自分たちのグループと他のグループで見つけた「社会人に求められる力」を関連付ける見通しを持てるように、自分たちが必要だと考える「社会人に求められる力」との共通点や相違点を見付けるよう促す。</p>
<p>3 互いのグループの「社会人に求められる力」の関連を話し合う。(20分)</p> <p>S : 他の事業所で体験した友達の発表で、コミュニケーション能力は客に満足してもらうために必要だと話していたよ。自分もコミュニケーション能力が必要だと考えていたけれど、目的が違うな。</p> <p>S : 同じグループの友達は、他の事業所で体験した友達の発表から、忍耐力も必要だと捉えたのだな。大切な力はいろいろあるな。</p> <p>S : 自分は一人で抱え込んでしまいがちだから、コミュニケーション能力を伸ばして仲間と協力できるようになりたいな。</p>	<p>○互いのグループで考えた「社会人に求められる力」を関連付けられるように、話し合う際に用いる思考ツールを用意しておく。</p> <p>○「社会人に求められる力」を多面的に考えられるように、他のグループの発表や理想の生き方との関わりから、自分に必要な「社会人に求められる力」を見直すよう助言する。</p> <p>○「社会人に求められる力」を関連付けた根拠を明確にできるように、その力が発揮された姿や場面を想像するよう促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目 (知①) 話合いの様子やメモから「『社会人に求められる力』を明確にしているか」を評価する。</p> </div>
<p>4 本時の学習の振り返りをする。(5分)</p> <p>S : 他の事業所で職場体験をした友達の発表を聞くことで、グループでまとめたとき以上に、コミュニケーション能力を深く考えることができたな。</p> <p>S : 自分のやりたい姿に近づくために、やっぱりコミュニケーション能力を、今よりもっと伸ばしていく必要があるな。</p>	<p>○本時の取組に充実感を持てるように、他のグループの発表や「社会人に求められる力」の関連付けを基に自分に必要な「社会人に求められる力」を明確にできたことを称賛する。</p> <p>○今後の学習の見通しを持ち、主体的に学習に取り組めるように、自分が理想とする生き方に近づくためにこれから伸ばしていきたい「社会人に求められる力」を問いかける。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><振り返り></p> <p>S : 自分たちが気付いていなかった「社会人に求められる力」についても知ることができた。一人で抱え込まずにコミュニケーション能力を伸ばして仲間と協力できるようにしていきたい。</p> </div>	

<別紙>

3 指導及び評価の計画（全 32 時間：本時第 27 時）

	時	学習活動	知	思	態
つかむ	1, 2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探究課題と出合い、単元の課題を把握する。 8 時間</div> <p>【探究課題と出合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のよさや関心のある職業について考える。 地域にある職業について話し合い、職場体験の事業所を決定する。 スポーツ選手から、理想を実現するために必要な「社会人に求められる力」について話を聞く。(i) 			①
	3 ～ 5	<p>【単元の課題を把握する】</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ選手と現在の自分の心がけや行動等を比較し、自分が理想とする生き方を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">単元の課題 学校生活を通して「社会人に求められる力」を身に付けよう</div>	①		①
	6 ～ 8	<p>【追究の見通しを持つ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業所ごとに役割分担を行い、自分が理想とする生き方を探る計画を考える。 事業所について、体験の際に必要な情報を収集する。 単元の課題を基に、単元名を決定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 単元名 自信と笑顔であふれる未来の自分 ～職場体験や学校生活を生かして～ </div>			②
追究する①	9	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">職場体験を通して自分たちの課題を見つけて追究する。 19 時間</div> <p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「社会人に求められる力」について個人で考える。 自分の長所やなりたい姿を振り返り、身に付けたい「社会人に求められる力」を考える。 	①	①	
	10 11	<p>【情報収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「社会人に求められる力」や職場体験を実施するために必要なことについて情報収集する。(ii) 		②	
	12 ～ 23	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験を行う。 事業所の方にインタビューしたり、体験を通して感じた働くことの意味や価値、「社会人に求められる力」等をまとめたりする。(iii) 	②	②	③
	24	<p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職場体験をした事業所ごとに、「社会人に求められる力」を話し合う。 		③	②
	25 ～ 27	<p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職場体験をした事業所ごとに、職場体験報告会の発表資料を作成する。 職場体験において感じた「社会人に求められる力」を、他の事業所で体験した生徒の発表と関連付けて話し合う。 	①	④	
追究する②	28	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新たな課題を見だし、継続して追究する。 3 時間</div> <p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「社会人に求められる力」を身に付ける方法を考えて、個人課題を設定する。 		①	
	家庭 学習	<p>【情報収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「社会人に求められる力」を身に付ける方法を保護者にインタビューする。 			
	29	<p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 報告会の内容や保護者へのインタビューを踏まえて、「社会人に求められる力」を身に付ける方法について話し合う。 		③	②
	30	<p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活の中で行える、「社会人に求められる力」を身に付ける方法を話し合っまとめてみる。 	②	④	
まとめる	学級 活動	<ul style="list-style-type: none"> 学級や個人で行う「社会人に求められる力」を身に付ける方法を具体的に考える。 「社会人に求められる力」を身に付ける方法を実践する。 実践を振り返り、取組の改善・変更を話し合う。 			
	31 32	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">単元全体の学習の振り返りをする。 2 時間</div> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの取組や学習状況を評価する。 単元を振り返り、自分の変容や成果、課題をまとめる。 	③		

* 関わる外部人材等：(i) 東京オリンピック出場選手 (ii) 旅館の女将 (iii) 事業所の方々